

分担研究報告書

地域包括ケアにおける医療連携と機能分化に資するがん患者・家族への意思決定支援に関する研究

研究分担者 筑波大学 医学医療系 濱野淳

研究要旨

がん患者家族の家族内葛藤は患者の苦痛や介護者の負担感に影響するといわれているが、緩和ケア病棟で亡くなったがん患者遺族において家族内葛藤が遺族の抑うつ、複雑性悲嘆に与える影響は明らかになっていない。

本研究で、緩和ケア病棟で最期を迎えた進行がん患者の家族の42.2%が家族内の葛藤を少なくとも1つは経験したと回答し、「ご自身が本来果たすべき役割を十分にしていない家族の方がいると思うことがあった」「患者様の治療方針に関することで意見が合わないことがあった」については、「とても良くあった」「よくあった」「時々あった」と回答した家族がそれぞれ20%以上だった。

これらの結果より、地域包括ケアにおける医療連携と機能分化を推進するにあたって、各医療機関の医療従事者が、家族内の関係性やコミュニケーションの状況を理解して関わることで、家族内の葛藤の有無に気付くことに役立ち、進行がん患者の家族への支援、そして、患者、家族のQOLの向上につながることを示唆された。

**A．研究目的**

がん患者の家族が経験する葛藤は、がん患者の苦痛や寂しさ、そして、介護者の負担感、抑うつ、悲嘆などに影響すると言われ、がん患者、家族のQOLに影響する可能性が考えられている。しかし、がん患者の家族がどのような葛藤を経験しているのか、どのような家族に葛藤が多いのかということは明らかになっていない。本研究では、緩和ケア病棟で最期を迎えたがん患者の家族が経験した葛藤の実態について検証することを目的とした。

**B．研究方法**

日本国内71医療機関の緩和ケア病棟で、2016年1月31日以前に亡くなった患者の遺族を対象に、2016年5月から2016年7月にかけて自記式質問票による調査を実施した。

（倫理面への配慮）

東北大学倫理委員会で承認された後に実施された。

## C . 研究結果

緩和ケア病棟で最期を迎えた進行がん患者の家族の 42.2%が家族内の葛藤を少なくとも1つは経験したと回答し、「ご自身が本来果たすべき役割を十分にしていない家族の方がいると思うことがあった」「患者様の治療方針に関する事で意見が合わないことがあった」については、「とても良くあった」「よくあった」「時々あった」と回答した家族がそれぞれ20%以上だった。さらに、遺族の年齢が若い場合、家族内で意見を強く主張する人がいた場合、そして、病気後に家族内でのコミュニケーションが十分に取れていなかった場合に、家族内の葛藤が増えることが明らかになった。また、病前に交流がなかった家族と連絡をとるようになった場合に、家族内の葛藤が減ることも明らかになった。

## D . 考察

これらの結果から、緩和ケア病棟で最期を迎えた進行がん患者の家族は、家族内で葛藤を経験することが少なくないことが分かり、家族の年齢、家族内の関係性やコミュニケーションの状況が家族内の葛藤の有無に関係する可能性が示唆された。

そして、この家族内の葛藤は、緩和ケア病棟だけで発生することではなく、治療の早期から患者・家族が感じていることであるため、地域包括ケアにおけるがん診療連携体制の構築においては、治療における医療連携、機能分化だけでなく、家族ケアにおける医療連携、機能分化も必要であると考えられる。

## E . 結論

1. 緩和ケア病棟で最期を迎えた進行がん患者の家族のうち、約40%が何かしらの家族内の葛藤を経験していたことが明らかになった。
2. 家族の年齢が若い場合、家族内で意見を強く主張する方がいる場合、病気後に家族内でのコミュニケーションが十分にとれていなかった場合に、家族内の葛藤が増えることが明らかになった。
3. 各医療機関の医療従事者は、家族内の関係性やコミュニケーションの状況を理解して関わることが、進行がん患者の家族内の葛藤に気付

くことに役立つ可能性が示唆された。

## F . 健康危険情報

なし

## G . 研究発表

### 1 . 論文発表

1. Hamano J, Morita T, Mori M, Igarashi N, Shima Y, Miyashita M. Prevalence and predictors of conflict in the families of patients with advanced cancer: A nationwide survey of bereaved family members. *Psycho-Oncology*. 2018;27(1):302–308.

### 2 . 学会発表

1. 第22回日本緩和医療学会 学術大会 口演：家族内葛藤が遺族の抑うつ、複雑性悲嘆に与える影響

## H . 知的財産権の出願・登録状況

### 1 . 特許の取得

なし

### 2 . 実用新案登録

なし

### 3 . その他

なし